

「つれもてやろら！まちづくり」イベント

日 時	平成 16 年 2 月 14 日 (土) 10:00 ~ 18:00
場 所	ぶらくり丁界隈



1) フォーラム開催に向けたイベントの目的

フォーラムをいっそう盛り上げるため、フォーラム開催前日にワークショップで企画された9つのイベントをぶらくり丁界隈で開催した。これまで行われてきたワークショップの成果を、広く市民の方々に周知するとともに、ぶらくり丁の活性化に少しでも興味を持ってもらうことを目的とした。

2) フォーラム開催に向けたイベント

イベント名	場所
ぶらくり今昔写真展	北ぶらくり商店街内
ぶらくり喫茶『お持ち込み』	北ぶらくり商店街ぶらっと前
和歌山ゆかりの料理 & お抹茶振る舞い	
子どもの宝さがし	商店街全域
ぶらくり本	
ぶらくりテーマツアー	ぶらくり丁界隈
ぶらくりまちかど生ライブ	旧丸正百貨店ビル前
逸品オークション	北ぶらくりの空き店舗前
まちアート	東ぶらくり丁商店街

3) フォーラム開催に向けたイベントの内容

イベント名称	ぶらくり今昔写真展	
開催時間	10:00～17:00	
開催場所	北ぶらくり丁商店街	
イベントの内容	<p>ぶらくり今昔写真展</p> <ul style="list-style-type: none"> ぶらくり丁周辺の関係者および市の協力を得て、明治から昭和にかけてのぶらくり丁周辺の貴重な写真40枚を集め、現在の写真と対比させた展示を北ぶらくり丁商店街のアーケード内で行った。 A2サイズのパネル(スチレンボード)にデジタル化した写真(昔と現在の写真)をレイアウトし、背景と説明文を簡単にデザインした。 パネルは合計14枚用意し、2枚ずつ木製イーゼルに載せて展示した。 <p>「この場所どこでしょう？」クイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ぶらくり丁周辺の中から、地域のシンボルや個性が感じられる場所を5カ所(橋上の時計、欄干、建物のレリーフ、歴史案内プレート、店の看板)選び、参加者に当ててもらおうクイズを行った。 全問正解者の中から抽選で5名の方に「ぶらくり福袋」を進呈した。 	
イベント当日の様子	<p>ぶらくり今昔写真展</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもから高齢者まで幅広い市民が来訪した。 昔日のぶらくり丁を懐かしむ高齢者や、昔は多くの市民で賑わっていた事実を初めて知る若い人がみられた。 写真を見ながら、見物人同士で会話をする姿がみられ、写真展を通じて、商店街が市民のコミュニケーションの場になっていた。 <p>「この場所どこでしょう？」クイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども連れの親子を中心に約80名がクイズに参加した。 全問正解者は約7割。 クイズを通じて、何時間も歩いた参加者もみられ、クイズを通じて町歩きを楽しんでもらう目的が達成された。 	
イベント当日の風景(写真)		

イベント名称	ぶらくり喫茶『お持ち込み』	
開催時間	11:00～16:30	
開催場所	北ぶらくり丁商店街 まちづくり工房「ぶらっと」前	
イベントの内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集まった方が一休みいただけるように、誰もが憩える喫茶スペースを設置し、コーヒー、紅茶、緑茶など、飲み物の無料提供を行う。和菓子屋さんからお菓子を買取り販売するサービスもおこなった。 ・ 段ボール箱活用による「エコチェア」及び「エコ・テーブル」を設置。 ・ いつもは足早やに通り過ぎる商店街に、足を止めて、腰を下ろして、ほっと一息つける場を提供することが目的。 	
イベント当日の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・ スタッフのおもてなし心が溢れる、暖かいスポットとなり、七輪も登場するなど、冬の商店街に暖気をもたらした。 ・ 通りすがりの方が一休みしながら、お茶を飲み、談笑するシーンがいつまでも見受けられた。 ・ 段ボールのテーブル・イスは茶粥振る舞い時には、街角食堂に、オークション開催時は、観客シートに早変わりするなど、使い勝手がよく、また、「段ボールの椅子ってこんなに暖かいんだ」「組み立てているだけなのに座っても壊れないんだね」など、新たな発見も生まれた。 	
イベント当日の風景（写真）		

イベント名称	和歌山ゆかりの料理振る舞い
開催時間	12:00～16:00
開催場所	北ぶらくり丁商店街 まちづくり工房「ぶらっと」前
イベントの内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 和歌山にゆかりのある料理を振る舞うイベント。 ・ メニューは、寒い時期でもあることから体の温まる「茶粥」とした。 ・ 茶粥は焼き餅入りで、つけあわせとして紀ノ川漬け、金山寺みそ、かつお梅も用意した。(約200食) ・ また、15時前から、お抹茶と干菓子を無料で振る舞った。 ・ 炊き出しのスタッフとして周辺地域の婦人会の協力を得た。
イベント当日の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・ 茶粥、お抹茶ともに好評で、実施場所であるぶらっと前の喫茶お持ち込みのスペースやぶらっとの中は、茶粥を食べる人や抹茶を飲む人でにぎわった。 ・ あちこちからおいしいと言う声が聞こえ、イベントに『食』が欠かせないことを実感する盛況ぶりであった。 ・ 周辺地域の婦人会の方々の手際の良い仕切りが、このイベントの成功の要因の1つである。
イベント当日の風景(写真)	

イベント名称	子どもの宝さがし
開催時間	10:30～16:00
開催場所	北ぶらくり丁商店街（受付）
イベントの内容	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちに、商店街により親んでもらい、「商店街は楽しいところなんだ」という実感を持ってもらうことが目的。ぶらくりの各商店街の宝になるようなものをクイズにして出題し、普段気にしたことのないところへ目を向けることや、新たな発見を促す。宝さがしのなかで、子どもたちと商店街の人々のふれ合いが生じることも大きなメリットである。 所要時間はおよそ30分を想定し、正解数に応じて駄菓子を用意。参加賞として景品付きのくじ引きを用意した。 <div data-bbox="421 786 890 1104" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="895 786 1366 1104" data-label="Image"> </div>
イベント当日の様子	<ul style="list-style-type: none"> 開始予定時刻の30分前から、繰り上げて受け付け開始。受付の前の人波がほとんど途切れなかった。子どもたちだけでおよそ120名が参加。親子連れも多く、親子合わせて延べ約200名が参加。親子と一緒に商店街を歩き回って楽しむシーンが多く見られた。お店の場所を商店主に尋ねるなど、あちこちでふれ合いも見受けられた。 当日スタッフは、ワークショップメンバーに加え、和歌山大学の学生、市職員も参加し、安全かつ円滑なイベント運営がおこなわれた。
イベント当日の風景(写真)	<div data-bbox="359 1458 847 1821" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="887 1458 1382 1821" data-label="Image"> </div>

イベント名称	ぶらくり本
開催時間	-
開催場所	本部、看板に置く、または手渡しで来訪者へ配布。
イベントの内容	<ul style="list-style-type: none"> 当日のイベント開催の時間・場所・概要が分かるように、イベントパンフレットを2000部作成。翌日のフォーラムの宣伝も兼ねており、UWU(和歌山大学運営のインターネットラジオ)のプロモーションのピラも差し込まれた。 当日はぶらくり本を片手に商店街を歩く人々の姿で溢れた。

*** 2/15(日)フォーラムプログラム ***

【オープニングイベント】
4時15分開始

【開会挨拶】
大塚 謙一 氏 (和歌山市長)

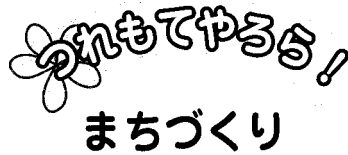
【講演】
講演者：『大阪・池江のまちづくりの「しかけ」』
藤村 茂樹 氏 (大阪・池江・磯辺ユニオン代表)

【ワークショップ成果報告】
『ぶらくり丁周辺の地図に描いた私たちの未来』

【講演】
『まちづくりの「オーナーシップ」をつれもて考えよう!』
角野 尚希 氏 (和歌山大学学生生活協会の代表)

【パネルディスカッション】
『つれもてやらら! まちづくり』

当日参加歓迎!!
14:20の開催



フォーラム&イベントガイド



つれもてご参加ください!
和歌山市のまちづくりに
興味のある方もない方も
つれもてご参加下さい!



【主催】『つれもてやらら! まちづくり』フォーラム実行委員会、和歌山市

ぶらくり町書き写真展 <10:00~17:00>
ぶらくりアートコート

親子の宝探し <11:00~15:30(予定)>
ぶらくりアートコート

ぶらくりまちかど生ライブ <11:00~18:00>
ぶらくりアートコート

ぶらくり展新 お持ち込み <11:00~17:00>
ぶらくりアートコート

ぶらくりアートコート <12:30~13:00>
ぶらくりアートコート

ぶらくりの町探しの新理の技術者展覧会 <14:00~17:00>
ぶらくりアートコート

ぶらくりアートコート <14:20~17:30>
ぶらくりアートコート

ぶらくりアートコート <15:00~17:00>
ぶらくりアートコート

ぶらくりアートコート <16:00~17:00>
ぶらくりアートコート

ぶらくりアートコート <17:00~18:00>
ぶらくりアートコート

ぶらくりアートコート <18:00~19:00>
ぶらくりアートコート

イベント名称	ぶらくりテーマツアー	
開催時間	10:00～17:00(ツアー最終受付16:00)	
開催場所	スタート地点：北ぶらくり丁商店街 まちづくり工房「ぶらっと」 ツアー場所：ぶらくり丁一帯	
イベントの内容	<ul style="list-style-type: none"> あるテーマを決めてぶらくり丁周辺のまち歩きを行うテーマツアーである。なるべく広い範囲を歩いてもらうためにぶらくり丁の8店舗にスタンプを設置した。 ゴールの条件は、ツアーシートに8つのスタンプが揃っていることと、最初に選択したテーマに沿ったおすすめスポットを記入してあることである。 ゴールした人に参加賞を用意。さらに、おすすめスポットがBravo編集者の目にとまった人には、優秀賞および、スタンプ設置協力店からの賞を用意。 	
イベント当日の様子	<ul style="list-style-type: none"> 当初の予想を超える参加者があった。 小さな子ども連れの若い家族から、学生、主婦、高齢者まで参加者の年齢層は幅広く、お昼時にゆかりの料理振る舞いに寄ったついでに参加する人も多くいた。 選ばれるテーマは「うまいもの」が多く、おすすめのお店を教えてくれる人が多かった。普段からよく訪れる場所や、ぶらくり丁ならではの景色を教えてくれる人、時間をかけて新たなおすすめスポットを探す人と様々であった。 	
イベント当日の風景(写真)		

イベント名称	ぶらくりまちかど生ライブ																																					
開催時間	11:00～16:00																																					
開催場所	旧丸正百貨店ビル前																																					
イベントの内容	<ul style="list-style-type: none"> 不特定多数の訪問者に対するパフォーマンスで、イベントの集客装置として賑わいを演出する。 商店街、来街者の双方に賑わい創出の一体感を感じてもらふことと、和歌山のアマチュアアーティストに表現の場としてのぶらくりを感じてもらふことが目的。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>時刻</th> <th>名前</th> <th>ジャンル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11:00</td> <td>CROSS OVER</td> <td>ゴスペル</td> </tr> <tr> <td>11:20</td> <td>古藤拓</td> <td>弾き語り</td> </tr> <tr> <td>11:40</td> <td>山田佳古</td> <td>二胡</td> </tr> <tr> <td>12:10</td> <td>DRY</td> <td>青春ビジュアルロック</td> </tr> <tr> <td>12:30</td> <td>GROUND CRSS</td> <td>バンド</td> </tr> <tr> <td>13:20</td> <td>げんちゃん</td> <td>タイダンス</td> </tr> <tr> <td>13:40</td> <td>西村勇氣</td> <td>弾き語り</td> </tr> <tr> <td>14:00</td> <td>MR.T</td> <td>弾き語り</td> </tr> <tr> <td>14:30</td> <td>宮井平安堂</td> <td>エレクトーン演奏</td> </tr> <tr> <td>15:10</td> <td>津村 久道</td> <td>弾き語り</td> </tr> <tr> <td>15:30</td> <td>宮井平安堂</td> <td>エレクトーン演奏</td> </tr> </tbody> </table>	時刻	名前	ジャンル	11:00	CROSS OVER	ゴスペル	11:20	古藤拓	弾き語り	11:40	山田佳古	二胡	12:10	DRY	青春ビジュアルロック	12:30	GROUND CRSS	バンド	13:20	げんちゃん	タイダンス	13:40	西村勇氣	弾き語り	14:00	MR.T	弾き語り	14:30	宮井平安堂	エレクトーン演奏	15:10	津村 久道	弾き語り	15:30	宮井平安堂	エレクトーン演奏
時刻	名前	ジャンル																																				
11:00	CROSS OVER	ゴスペル																																				
11:20	古藤拓	弾き語り																																				
11:40	山田佳古	二胡																																				
12:10	DRY	青春ビジュアルロック																																				
12:30	GROUND CRSS	バンド																																				
13:20	げんちゃん	タイダンス																																				
13:40	西村勇氣	弾き語り																																				
14:00	MR.T	弾き語り																																				
14:30	宮井平安堂	エレクトーン演奏																																				
15:10	津村 久道	弾き語り																																				
15:30	宮井平安堂	エレクトーン演奏																																				
イベント当日の様子	<ul style="list-style-type: none"> 和歌山のアマチュアバンドの熱いパフォーマンスがぶらくりに響いた。なかにはセミプロ級の実力者も出演し、多くの聴衆を集めた。春一番が吹く中、飛びそうなテントの撤収も余儀なくされる状況でも、常に観客が見守り、通行中の人もふと足を止めて耳を傾けるという情景が見られた。 																																					
イベント当日の風景(写真)																																						
																																						

イベント名称	逸品オークション
開催時間	12:30～13:30
開催場所	北ぶらくり丁商店街（元「ふなと」前）
イベントの内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ ぶらくり丁のお店をよりたくさんの人々に知ってもらうために商店街から各商店の「逸品」を出してもらい、それを市民にせり形式で値段をつけてもらうという「逸品オークション」を開催した。 ・ 商店街からは20品の商品の提供があった。 ・ より多くの市民に集まってもらうため、500枚のピラを作成、配布した。 <div data-bbox="635 689 1098 1014" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="740 1025 991 1059">オークションのピラ</p>
イベント当日の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベント開始前、会場の設営からピラ配りまで、ワークショップ参加メンバーと市職員で準備した。 ・ ピラを配った効果もあり、多くの人々が集まった。進行役を担当した市職員のトークも大うけし、絶え間ない笑いがアーケード内に響いていた。 ・ 出品した店のオーナーも参加し、商品の「逸品たるゆえん」について語った。市民も「へえ、そうなんだ!」と「新たなぶらくりの一面」を発見していた。
イベント当日の風景（写真）	<div data-bbox="376 1641 858 1995" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="882 1641 1361 1995" data-label="Image"> </div>

イベント名称	まちアート
開催時間	10:00～17:00
開催場所	東ぶらくり丁商店街
イベントの内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ ぶらくり丁に近い鷺森幼稚園の園児に「家族」をテーマに絵（四つ切りサイズ）を描いてもらい、東ぶらくり丁の商店街で路上展示した。 ・ 1枚のコンパネに四つ切りの絵を3枚貼り付け、2枚1セットで20カ所に展示した（絵は合計約120枚）。 ・ 展示にあたっては、鷺森幼稚園の多くの先生に絵の展示や飾り付けで協力してもらおうとともに、ぶらくり丁に縁の深い写真家にコンパネの提供を受けた。
イベント当日の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鑑賞客の多くが絵をかいてもらった園児の保護者や親戚・知人であったが、通りがかりに絵を鑑賞する買い物客の姿もみられた。 ・ 今回は、結果的に鷺森幼稚園の園児の絵画展となったが、順番に他の幼稚園の園児にも絵を描いてもらった方がよいのではないかという声が聞かれた。
イベント当日の風景（写真）	

[Web ページへ戻る](#)